

教育センターニュース

ミネルバ



佐賀県教育センター

〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上

TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

◎「ミネルバ」は教育センターWebでもご覧いただけます。

掲載記事

- 副所長あいさつ
- 教師の指導力向上を図る実践研究
 - 日々の実践につなげる校内研究
 - 小・中学校社会科の授業にひと工夫
 - 理科授業をサポート
- 児童生徒・保護者に伝えたい情報モラル
- 教育論文の募集

教育における「不易と流行」

—本質を見極め、改善を図ろうとする姿勢が大切—

副所長 富吉 猛



今の世の中はまさに、変化の時代です。そして、激変する社会の変化に対応していくために、様々な教育改革が行われてきています。それに伴い、学校においては、これまで当然だと思って取り組んできた教育課程や教育内容、指導方法等において、変化と対応が求められているところです。

ところで、このような時代だからでしょうか、教育における「不易と流行」について、最近よく耳にするようになってきました。

今、各学校でICT利活用教育が推進され、電子黒板やタブレット端末等の整備が進み、日々の授業に取り入れられています。これはまさに、教育における「流行」だと思います。

そして、教師は、子どもたちの学力を伸ばそうと、生きる力を身に付けたいとの願いをもって「流行」を取り入れ、研修を重ねてきたところです。これはまさに、学校教育の「不易」の部分だと思います。

ここで肝心なことは、ICT機器が先にあるのではないということです。先ずもって、ICT機器の特長や可能性を十分に把握し、「わかる・できる」授業を目指す中で、どのような使い方が効果的かを見極めることが大事だということです。

先日、「不易と流行」を調べていた際に、目に留まった言葉があります。

「松尾芭蕉から現代人が学べることは、『変わらぬものを変わらぬ方法で伝える』ことではなく、『変わらぬものを変わりゆくときの流れに合わせ、新たな価値を加えて改めて認識させていくよう努力する』という向上心にこそある。」

これから、学習指導要領の改訂作業が進み、道徳の教科化や小学校英語科の導入等が議論され、教育改革が加速していくことが予想されます。

そのような時代において、何より重要なのは、私たち教師の姿勢です。

教育における「流行」を漫然と取り入れることはせず、「流行」に備わっている本質をしっかりと見極め、改善を図ろうとする姿勢が大切です。この営みこそ、教育における「不易」であり、私たちが大切にしていくことだと思います。

小・中学校社会科の授業にひと工夫！

子どもの考えが飛び交います。

テーマ 社会科における 思考力・判断力・表現力の育成を 目指した授業の在り方

「児童生徒と共に語るべき社会的な問題とは何か」「どのようにして自分の考えをもたせたらよいか」「どこで、どのように評価するか」などを小・中学校の先生方と実践を通して研究しています。その中で、社会科における思考力・判断力・表現力の育成を目指して、「意思決定を取り入れた討論型の学習」を提案しています。

今年度も、小・中学校において公開授業研究会を行います。社会科授業の工夫や改善について議論しましょう。ぜひ、御参会ください。

「意思決定を取り入れた討論型の学習」のイメージ図

※ 例：小学校第4学年 小単元「ごみのしよりと利用」（東書3・4下）、
「ごみのゆくえは、どうなっているの」（日文3・4下）

単元導入

教科書を使った学習

知識、概念や
技能の習得

町がよごれない
ように、ゴミは
集めて、燃やし、
埋めています。

おかげでみんな
が気持ちよく過
ごせます。

意思決定を 中心にした 学習

社会的な問題に
ついて考える

単元終末

段階1 単元のこの段階を授業公開します。

本研究の重点

社会的な問題を
把握する段階
（意思決定1）

でも、ゴミはなくな
らないよ。

最後はどこに埋めるの？
自分は…。

段階2

社会的な問題について
考えを深める段階
（討論）

いくつかの町で、
1か所に決める
べきだよ。

効率が
いいね。

自分の町に埋める
ところをつくるべ
きだよ。

不公平
だわ。

段階3

学習をまとめる段階
（意思決定2）

わたしの
考えは…。
理由は…。

【公開授業研究会予定】

芦刈小学校、大山小学校、簗木小学校、東脊振中学校、
鍋島中学校、有明中学校、吉田中学校、西唐津中学校

期日、学年、単元名等は、SEI-Net の
「文書管理」によりご案内いたします。

※ 詳しくは、Web をご覧ください。（「教育センター」研究・調査 → 授業に役立つ実践研究 → 25年度 小・中学校社会科）

【問い合わせ先】研究課 研究調査担当 TEL：0952-62-5214（直通）

理科授業をサポート！

児童生徒の学力向上に向け、科学的な思考力・表現力の育成を図る指導法及び理科の授業における観察・実験活動の充実をサポート

平成24年度から研究に取り組んできた「理科授業改善サポートチーム」が、今年度から名称を「理科力向上サポート」（以下、理サポ）に改め、対象をこれまでの小学校と中学校から高校、特別支援学校まで広げて、学習指導案や教材研究等のサポート体制の充実を図ることとなりました。今年度は、小学校5校と中学校5校で公開授業研究会を行います。授業を通して、児童生徒の科学的な思考力・表現力の育成を図る指導法について、参会の先生方と協議していきたいと思ひます。

また、要望に応じて、校内研究や市町教科等研修会において、理サポ委員が学校に出向いて観察・実験講習会を実施します。理科に関するご相談は、教育センター理サポ委員までお願いします。

【昨年度の観察・実験講習会の様子より】



市町教科等小学校理科研修会



市町教科等中学校理科研修会



小学校夏季校内研修会

※ 9月に SEI-Net でご案内
します



「りさぼくん」

【問い合わせ先】研修課 長期研修担当 TEL：0952-62-5213（直通）

【公開授業研究会予定】

	会場校	期 日
小学校	福 富小学校	10月28日(火)
	鬼 塚小学校	11月20日(木)
	仁比山小学校	1月30日(金)
	浜 小学校	2月 3日(火)
	勸 興小学校	2月 6日(金)
中学校	城 北中学校	10月16日(木)
	千代田中学校	10月17日(金)
	山 代中学校	11月21日(金)
	多 良中学校	12月 2日(火)
	有 浦中学校	1月23日(金)

児童生徒・保護者に伝えたい情報モラル

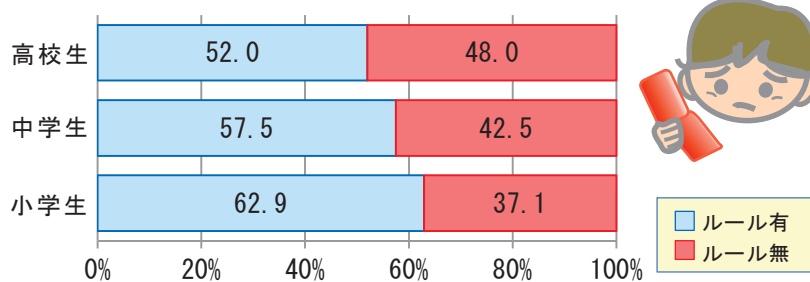
近年のインターネット接続機器は、コンピュータはもちろんのこと、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、携帯音楽プレーヤーなど様々なものがあります。

また、コンビニエンスストアやファストフード店などでも Wi-Fi 環境が整っており、大人の目の届かないところで、児童生徒が簡単にインターネットを利用できます。

インターネットを利用することはとても便利ですが、反面、SNS グループからの仲間外しやメールの返信に関わる友だちとのトラブル等、弊害の事例は多岐に及びます。上図は、「インターネット接続機器の使い方についての家庭のルール」の有無を表したグラフです。半数程度の家庭では、インターネットの利用についてのルールを決めておらず、児童生徒は自由に利用している状況がうかがわれます。まずは、様々な集会や文書等で保護者に呼び掛けて、家庭内でルールを作ることが大切です。

インターネット接続機器の使い方についての家庭のルール

(※平成 25 年度内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」より)



★ 「家庭のルール」を作る時のポイント

- 利用時間を決めましょう。(夜 9 時以降は使わない、インターネットの利用は 1 時間まで 等)
- 利用場所を決めましょう。(食事の場では使わない、自分の部屋では使わない 等)
- 個人情報の取り扱いについて決めましょう。(自分や他人の写真や住所などをインターネット上に掲載しない 等)
- メールや SNS の使用法について決めましょう。(すぐに返信しなくてもよいように約束する 等)

※「青少年のインターネット利用環境実態調査」(<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/>)

【問い合わせ先】情報課 情報教育担当 TEL：0952-62-3554(直通)

教育論文の募集

教育センターでは、教育論文を募集しています。

県内公立教職員の研究意欲への高揚及び教育活動の活性化を図るため、個人やグループ、校内研究で取り組んだ貴重な実践をご応募ください。また、優秀賞・優良賞は Web に掲載します。

【募集内容】

- ☆ 校内研究の部
- ☆ 個人(グループ)研究の部

【応募期間】

平成 26 年 10 月 31 日(金)～11 月 7 日(金)

【提出について】

論文はメール添付にて、ご提出ください。

【表彰】

「校内研究の部」「個人(グループ)研究の部」各部門それぞれ、優秀賞・優良賞・奨励賞を設定しています。入賞者は、実践交流会で表彰します。

【その他】

- ・ ご提出の際は、必ず応募票を付けてください。
- ・ 過去の入賞作品についても、Web からご覧いただけます。

「実践はしたけど、論文にどうまとめたらいいのかわからない……」



設定済みでそのまま書き込める「様式」と、書き方が一目で分かる「書式モデル」を作成しました。
Web からダウンロードできます。
そのほか、論文作成に役立つ資料もそろっています。



「論文を書いてみようかしら。」

※ 詳しくは、Web をご覧ください。

(「教育センター」研究・調査
→ 教育論文募集・入賞作品)

【問い合わせ先】情報課 教育課程支援担当 TEL：0952-62-5238(直通)